

サクラソウ調査に関するよくある質問

Q1)だれから調査に関する指示を受ければいいですか？

A1)想いを同じくする自主的な団体(ボランティア・グループ)ですから、大枠の約束事に沿って、自己判断で自主的に行なうことを原則とします。

Q2)だれと調査を行なえばいいですか？

A2)事前にエリア別担当者の表をお渡ししていますが、一人でもいいし、気の置けない仲間と組んでもいいし、まったく自由です。地元の方から不信感を持たれないように注意し、安全で楽しい調査を願います。

Q3)同じエリアのグループ全員で一斉に調査したいのですが可能ですか？

A3)エリア全員の意向でグループ調査したいのであれば可能ですが、現実問題として全員に確認を取ることが困難だと思います。日程を調整することも難しいのではないのでしょうか。ただし「生物多様性の日」の5月 22日(土)はサクラソウ会議として、存在をアピールするために一斉に活動する予定です(詳細未定)。

Q4)担当のエリアをすべて調査しなければいけないのですか？

A4)いいえ、お住まいのエリア内で広すぎるので、調べられる範囲で結構です。そして可能な時(散歩、通勤、外出等)に調査願います。

Q5)担当エリア以外でも調査したいのですが？

A5)関心がある自生地や知っている自生地等、担当エリア以外も OK です。

Q6)サクラソウだけ調べて意味がありますか？

A6)サクラソウだけ調べても軽井沢の自然が健全であるかどうかは分かりません。しかし軽井沢の全生物を調査することは現実的には不可能です。そこで軽井沢の自然を象徴する種(軽井沢なら植物ではサクラソウ、動物ならリス等)を調べることによって生物間の総体(生態系)の健全さをある程度推定できます。

Q7)サクラソウを調査していることを PR してはどうですか？

A7)PR はやっていることを理解し協力してもらう上で大切なことです。調査する前にメディアや行政にも情報を流し広報します。途中経過やまとまった段階でも PR し、多くの方に注目してもらいます。

Q8)モニタリング調査とはどういう調査ですか？

A8)モニターとは監視するという意味です。継続して変化を調べることです。サクラソウも花をたくさん付ける年と、そうでない年もあります。何年にも亘り同じ場所を同じ時期に調べることによって変化が把握できます。その原因を分析し、減少しているならその対策を講じ、保全につなげます。

Q9)来年以降も調査するのですか？

A9)モニタリング調査は長く続けて変化を調べることに意義があります。自然は常に変化しています。1~2年の調査では無理なので少なくとも3~5年に亘る毎年の調査が必要と考えています。もし保全策を行なえばそのフォローとしての継続調査が必要となります。その場合は毎年ではなく隔年とかになります。

Q10)もっと詳しく調べておいた方がいいのではないですか？

A10)その通りです。今回の原則全員参加の調査は1次調査と位置付けています。全員の目で出来る限り自生地の全体像を把握します。1次調査のデータを基に、2次調査(詳細調査)を行ないます。

Q11)調査結果はどのように利用したり公表するのですか？

A11)調べることが最終目的ではありません。あくまでサクラソウをシンボルとして軽井沢の自然環境がどのような状態であるかという確からしい事実をこの調査で明らかにした上で、住民の共通認識を図ります。もし保全が必要であれば行い、住民総意による軽井沢らしい自然環境の保全を目的としています。調査結果は各段階で・広く・分かりやすく・速やかに公表したいと考えます。

Q12)調査結果を公表することによって盗掘などが発生しませんか？

A12)過去には心無い行為(盗掘、壊滅など)があったことは事実です。世の中、善意の人ばかりとは限りません。不用意な公表の仕方によって、盗掘などが起こることは想定していなければならないでしょう。盗掘等が心配なので公表しないのでは目的が達成できません。公表の仕方や情報の表現方法に細心の注意を払い工夫しなければいけないと思います。

Q13)私有地に自生する場合はどう注意をすればいいですか？

A13)ほとんどの自生地は私有地なので、在宅であれば許可を得た上で、不在の場合は立ち入らず公道等から双眼鏡などで確認してください。地元の人に不信感を与えないように、チラシを渡し積極的に趣旨を説明し調査への理解と今後の協力を得るように声かけしてください。

Q14)園芸種(西洋種を除く)との区別はどうすればいいですか？

A14)江戸時代からサクラソウの園芸品種は 300 種ほどあり、それとの区別は難しいですね。庭に植えられている場合は対象から外した方が無難です。

Q15)動物の毛に付いてサクラソウの種が運ばれることはありますか？

A15)あるかもしれません。スタ場などで泥と一緒に種が運ばれる可能性はあります。

Q16)同じ生育場所のルリソウやシロバナエンレイソウとの関連も調査する必要はありますか？

A16)余力があれば関連調査をやってもいいと思います。まずは基本となるサクラソウを調べましょう。

Q17)ピン(長花柱花)とスラム(短花柱花)の区別はどうすればいいですか？

A17)花びらの中心(目)をよく観察すれば自然と区別がつくようになります。

Q18)生育場所は北西面に多いようですが？

A18)日当たりのある湿地性の植物です。北西の斜面は乾き難く、光も適度に届くので多いと思われます。

Q19)モニタリング調査は人の行為も対象とするのですか、植物観察との違いは何ですか？

A19)モニタリング調査は動植物など自然の変化を継続して調べ、要因を分析し、対策を立て、実行するための調査です。変化の要因に人為行為も含まれます。植物観察はモニタリング調査の入口です。過去にどういった人の関わりがあったか聞き取ることは価値があります。まずはサクラソウの変化をしっかりと調べてみましょう。

Q20)自生種と園芸種は交配しますか？

A20)交配する可能性はあります。